

平成30年度 第4回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨（案）

日 時 平成31年2月1日（金） 14:00～16:52
 場 所 琉球大学医学部 管理棟3階 大会議室
 構 成 員 32名（欠席者6名）

1号委員（琉大病院長）	藤田 次郎
2号委員（県立中部病院長）	本竹 秀光（代理）玉城 和光
（那覇市立病院長）	屋良 朝雄
3号委員（県立宮古病院長）	本永 英治（代理）岸本 信三
（県立八重山病院長）	篠崎 裕子
（北部地区医師会病院長）	諸喜田 林
5号委員（沖縄県医師会長）	安里 哲好（欠席）
6号委員（沖縄県歯科医師会長）	真境名 勉（欠席）
7号委員（沖縄県薬剤師会長）	亀谷 浩昌
8号委員（沖縄県看護協会会長）	仲座 明美
9号委員（沖縄県政策参与）	真栄田 篤彦（欠席）
10号委員（沖縄県保健医療部長）	砂川 靖（代理）糸数 公
11号委員（琉大がんセンター長）	増田 昌人
12号委員（琉大医療福祉支援センター長）	藤田 次郎
13号委員（琉大薬剤部長）	中村 克徳（代理）与那覇 房子
14号委員（琉大看護部長）	大嶺 千代美
15号委員（琉大事務部長）	熊谷 圭司（代理）高橋 圭郎
16号委員（県立中部病院副病院長）	玉城 和光（欠席）
（県立中部病院血液腫瘍内科部長）	朝倉 義崇
（那覇市立病院外科統括科部長）	宮里 浩
（那覇市立病院外科部長）	友利 寛文
17号委員（県立宮古病院外科部長）	松村 敏信
（県立宮古病院副院長）	平良 弘子
（県立八重山病院副院長）	平良 美江
（県立八重山病院外科部長）	尾崎 信弘
（北部地区医師会病院副院長・看護部長）	柴山 順子
（北部地区医師会病院副看護部長）	我如古 春美
19号委員（沖縄県がん患者会連合会事務局長）	安里 香代子
（がんの子供を守る会沖縄支部代表幹事）	片倉 政人
（公益社団法人日本オトミ協会沖縄支部長）	大城 松健
（ゆうかぎの会（離島圏におけるがん患者支援を考える会）会長）	真栄里 隆代
20号委員（国際医療福祉大学大学院教授）	埴岡 健一
（一般社団法人グループ・ネクサス理事長）	天野 慎介
（沖縄タイムス編集局社会部記者）	新垣 綾子
21号委員（琉大病院歯科口腔外科長）	新崎 章
（琉大病院病理部長）	吉見 直己（欠席）
（琉大病院第一外科長）	西巻 正（欠席）
（琉大病院小児科講師）	百名 伸之
（那覇市立病院放射線科部長）	足立 源樹
部会報告者 緩和ケア・在宅医療部会委員	笹良 剛史
情報提供・相談支援部会委員	樋口 美智子
ベンチマーク部会委員	伊佐 奈々
陪 席 者 琉球大学医学部附属病院地域医療部特命准教授	中島 信久
沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班主査	荻堂 麻紀子

議事要旨・議事録・委員一覧

1. 平成30年度第4回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(1月21日開催)

増田委員(11号委員)から、資料1の第4回幹事会議事要旨(平成30年11月9日開催)の確認があった。

2. 平成30年度第3回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(11月9日開催)

増田委員から、資料2の第2回協議会議事要旨(平成30年8月10日開催)の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

3. 平成30年度3回沖縄県がん診療連携協議会議事録(11月9日開催)

増田委員から、資料3の第1回協議会議事録(平成30年8月10日開催)の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

4. 協議会・幹事会・部会委員一覧

増田委員から、資料4に基づき委員について、医療部会、緩和ケア・在宅医療部会、小児・A Y A部会、離島・へき地部会、情報提供・相談支援部会、ベンチマーク部会等で委員の追加が報告があった。

有識者報告事項

1. 埴岡委員報告

埴岡委員(20号委員)から資料5に基づき、沖縄県の大腸がん(男性)関連データのアップデートについて報告があった。

2. 天野委員報告

天野委員(20号委員)から資料6に基づき、全国がん患者団体連合会「がん患者学会2018」について報告があった。

審議事項

1. 沖縄県におけるがん診療に関するがん種別専門医療機関の選定条件について

増田委員から資料7に基づき説明があった。埴岡委員から要件として、①がん種別ごとの5年生存率の開示、②QI(クオリティ・インディケーター)の測定を導入することの提案があり、増田委員から、①は開示に向かっていること、②については、大腸がんに関して進捗がみられることと、今後がん種別専門医療機関に選定された医療機関には他のがん種についても提案していきたいとの発言があった。

また、埴岡委員からがん種別専門医療機関が選定された後の周知方法について質問があり、沖縄県保健医療部糸数氏(砂川委員代理)から、沖縄県の医療計画の一部として公表やがんサポートハンドブックなど関連する情報誌への掲載予定である旨の回答があった。

2. 北部・宮古・八重山医療圏におけるがん医療について

増田委員から資料8に基づき、北部医師会病院、宮古病院、八重山病院で対応可能ながん種や治療等についての説明があった。加えて上記3病院の代表から、将来の展望や人材確保に苦慮していること等、現状の状況についての説明があった。天野委員から、①宮古病院の肺がん領域において免疫チェックポイント阻害剤は高額な薬価のため使用できないという説明、②沖縄県における離島圏の患者に対する渡航・宿泊費の補助について、質問があった。

①について、松村委員から、県立宮古病院では薬剤費は年度当初で決定していることから、収益に関わらず年度当初に予定していない高価な薬剤を購入することが困難になることが多いとの説明があった。また、篠崎委員から、県立八重山病院も同様の状況がある旨の発言があった。

②について、沖縄県保健医療部糸数氏(砂川委員代理)から、がんに限らず様々な疾患で渡航を

要する者に対して市町村が補助する渡航費又は滞在費の2分の1を県が補助しているとの説明があった。このことについて真栄里委員から、市町村によって支援のばらつきがあり、支援を受けられる回数が年2回など限られているため、より充実した援助を希望する旨の発言があった。

また、安里香代子委員から、金銭面だけではなく体力面等においても患者ができるだけ自身の住まいのある地域で治療をうけること希望していることから、離島における医師の確保を要望する旨の発言があった。増田委員から本資料の作成理由として、がん治療医は救急医療や周産期医療と比較すると離島で必要とされる医師の優先順位は低いこと、がん治療の設備投資費が高額であることから早急に対応することは困難であるという前提に立ち、各地域のがん種ごとの治療の可否を明確にすることで、その対策を検討する材料になることや、各地域の病院の説明責任につながることを目的としている旨の発言があった。また、オブザーバー参加の琉球大学地域医療部中島氏から、現在へき地医療の充実のためインターネットを利用した勉強会を実施していることや、本島内ではより高度な勉強会を実施していることから、その参加者が離島へき地等へ定期的に訪問し地域医療関係者との勉強会を開催できるようになれば、よりよい医療環境になる旨の発言があった。

3. 「沖縄県のがん患者にとって適切な『意思決定』ができるようにするための提案」について

増田委員から資料9に基づき11月10日に開催されたタウンミーティングでの協議を含めた説明があった。天野委員から、①インフォームドコンセントの際の看護師等の帯同やセカンドオピニオンの担保の遵守、②相談支援センターの周知方法として、静岡県立静岡がんセンターの先例に習い入院オリエンテーションの一環に加えてはどうか、との発言があった。

①インフォームドコンセント説明時の現状について看護師の立場から各委員から、以下の状況報告があった。

(柴山委員／北部地区医師会病院) 基本的には医師からの告知等の際は看護師が立ち会いを行っている。しかし、夕方の面談の場合、業務多忙による看護師の人員不足が起こりうることもあり得え、その場合は看護師以外の者の立ち会い等を含め対応漏れのないよう体制を整えている。

(平良弘子委員／宮古病院) できるだけ認定看護師を同席するよう心掛けているが、業務多忙な時間帯もあることから、全例ではない。

(平良美江委員／八重山病院) 宮古病院と似た状況である。

(大嶺委員／琉大病院) 看護師の同席は原則だが、夕方の多忙な時間帯では全例同席とまではいえない。

併せて、藤田議長及び松村委員から、患者のご家族を含め可能な限り医師や看護師が対応可能な勤務時間帯を考慮していただきたいとの発言があった。

②静岡がんセンターについて、藤田委員から、沖縄には静岡や東京にあるようながんの特化した施設としてのがんセンターはないことから、前例を全く同じ様に習うことは困難だが、沖縄県にも施設を含めたがんセンターの整備は重要だと感じている旨の発言があった。

また、患者側の立場として、以下の発言があった。

(大城委員) 自身の体験に基づくセカンドオピニオンの重要性と主治医との信頼関係構築の不安についての報告があり、今回の提案が現実的になることで不安解消につながる旨の発言があった。

(真栄里委員) 患者はセカンドオピニオンについて、主治医への遠慮や知識がないこともあるため、医療者側から、今以上に踏み込んだ説明等をしていただきたいとの発言があった。

4. 平成31年度の協議会・幹事会の開催の日時について

増田委員から、資料10に基づき、協議会日程(案)の提案があった。出席できない方が多いようであれば、日程調整するので、連絡いただきたい旨、補足説明があった。

5. その他

特になし

報告事項

1. 患者会等よりの報告

安里香代子委員（19号委員）から、資料11に基づき、12月15日開催した離島フォーラム in 八重山について報告があった。

2. 小児がん拠点病院について

百名委員（21号委員）から、資料12に基づき、琉球大学医学部附属病院は本件に申請した旨の報告があった。

3. がんゲノムの中核拠点病院等について

4. 沖縄県がん地域連携クリティカルパス適用状況について

5. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告について

6. 沖縄県地域総括相談支援センターの活動報告について

7. 第21回タウンミーティング報告

8. 厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議

増田委員から、資料13から資料27に基づき、報告があった。

9. その他

特になし

部会報告事項

1. 医療部会（報告なし）

2. 緩和ケア・在宅医療部会

増田委員が部会長代理として、資料28に基づき緩和ケア・在宅医療部会の活動・取り組み状況について、報告があった。

3. 小児・AYA部会（報告なし）

4. 離島・へき地部会

尾崎部会委員から資料29に基づき離島・へき地部会の活動・取り組み状況について、報告があった。

5. 情報提供・相談支援部会

島袋情報提供・相談支援部会委員から資料30に基づき情報提供・相談支援部会の活動・取り組み状況について、報告があった。

6. ベンチマーク部会（報告なし）

その他

特になし